

# 高校生・大学生の学びと学力の問題 について語り合いましょう

2019年から「高校基礎学力テスト」、2020年からは「大学入学希望者学力評価テスト」が導入されます。先行する学習指導要領の全面改訂と併せて、政府は、これら梃子とした高校と大学の全面的な「教育改革」を断行しようとしています。

こうしたやり方が、子どもたちの発達を保障し、未来を開く学力と人格形成につながるのか、私たちは懸念しています。現在進行している、「軍学共同」「文系廃止」「大学の職業教育機関化」の流れと同じく、ヒト・モノ・カネを経済成長と軍事など国策に動員しようとする政策の一環ではないかと思われるからです。

国策と改革に翻弄されるのではなく、問題を主体的にとらえ、創造的な高校・大学教育の実践を展開していくためにはどうすればよいのか。まずは、関係者がテーブルを囲み、教育の現状について交流し合うことが必要です。そこで、今年度の分科会では、特に以下のような内容のレポートを広く募り、議論していきたいと考えています。

○高校生の学び・学力の現状と高校教育の課題

○大学生の学び・学力の現状と大学教育の課題

○大学入試制度改革の動向と高大接続の課題

合同教研「大学づくり」分科会は、大学に限らず、教育関係者一人ひとりが、自由で創造的な学び＝大学づくりの主体となっていく筋道を明らかにすることを目的としています。レポートは短いものでも構いません。多くの皆さまの積極的な参加をお待ちしています。